

まちづくり情報満載!

あーばんとーく

こうべまちづくり会館ニュース

Kobe UrbanTalk

- 旧居留地連絡協議会が創立30周年を迎えました! (P.1)
- 火災に強い住宅への補助制度「まちの不燃化促進事業」開始
北野町山本通伝統的建造物群保存地区防災計画 (P.2)
- 祝*10年 まちセン研究ネット 空間像研究会③ (P.3)
- まちづくり会館20周年記念事業7・8月レポートほか (P.4)

発行: 神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>祝
30年

旧居留地連絡協議会が創立30周年を迎えました!

レトロな雰囲気の漂う歴史的景観と、最先端のファッショナブルな賑わいが共存するまち、旧居留地。この地区内で事業を営む法人約100社の集まりである「旧居留地連絡協議会」は今年、創立30周年を迎えました。これを機会に、旧居留地が神戸の都心を代表する魅力あふれるまちとなるに至った歴史的な経過と近年のまちづくり活動について、ご紹介します。

■旧居留地のあゆみ

慶応3年(1868年)の神戸港開港とともに始まった外国人居留地地区の形成は、イギリス人技師J. W. ハートの設計に基づき進められたもので、整然と区画割りされた街区は現在もほとんど変わらず残されています。明治32年(1899年)に日本に返還され居留地制度が解消された後も外国商館の繁栄が続きましたが、第一次大戦によって大きな打撃を受けて以降、日本の海運会社、商社、金融機関等の進出が相次ぎ近代洋風建築が数多く建設されたことにより、神戸経済の中枢を担う近代的な業務地が形成されました。近代洋風建築物は、第二次大戦で多くが失われましたが、いくつか残された建築物の重厚な歴史的雰囲気が見直されたことをきっかけに店舗・飲食店等が数多く進出した結果、従前からの企業に勤務する皆さんに加えて、現在は多数の来街者でも賑わいを見せています。



旧居留地のまちなみ

■旧居留地連絡協議会のあゆみ



旧居留地連絡協議会 活動の様子

旧居留地連絡協議会は、昭和58年に設立され、このたび30周年を迎えました。前身の「国際地区共助会」の設立は約70年前の終戦直後までさかのぼります。地区内の業務機能を主とした企業間の交流親睦、就業環境の向上を目的として活動が続けられてきましたが、この相互の連携を基盤に、近年はイベント開催、清掃、防災計画の策定、まちづくり・景観形成などの活動に、積極的に取り組んでいます。

平成7年の阪神・淡路大震災では旧居留地も大きな被害を受けましたが、旧居留地連絡協議会では、いち早く復興委員会を立ち上げ、復興計画を取りまとめました。その後、「にぎわい」「伝統」「風格」「もてなし」の4つをまちなみづくりのキーワードとして掲げた『都心(まち)づくりガイドライン』や、屋外広告物に関する方針をまとめた『屋外広告物ガイドライン』を策定することにより、新たな建物の建築や改装等にあたって景観的な調整を自主的に行っています。このような取り組みを通して、賑わいと風格のある旧居留地の魅力を未来に継承するため、協議会の会員相互による企業市民としての活動が着実に進められています。

なお、この9月には、旧居留地連絡協議会の創立30周年を記念した式典や講演、旧居留地の古い写真パネル展等の開催を通して、旧居留地の魅力が広く発信される予定です。(都市計画総局まちのデザイン室)

旧居留地都心づくり
ガイドライン神戸旧居留地・
懐古写真展

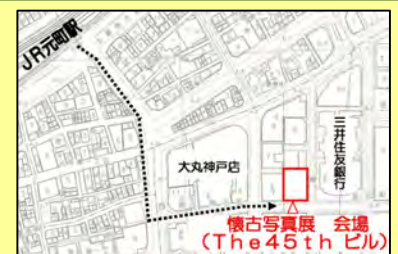
旧居留地の古い写真パネルを多数展示する、「神戸旧居留地・懐古写真展」が開催されます。神戸の都心にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

◆期間:平成25年9月13日(金)~16日(月・祝)

◆場所:The45thビル(中央区播磨町45番地)

◆時間:午前11時から午後6時(※9月14日の午前を除く)

◆アクセス:JR元町駅より徒歩約7分(大丸神戸店の東側です)



火災に強い住宅への補助制度「まちの不燃化促進事業」開始 —密集市街地の不燃化を進めています—



神戸市では、防災性や住環境に様々な課題を抱える密集市街地において、地域のみなさんとの協働と参画により、防災まちづくりの取り組みを進めています。このたび、地震時などの火災が広範囲に燃え広がる危険性を解消するため、一般的な住宅よりも耐火性能に優れた住宅を新築する際、費用の一部を補助する「まちの不燃化促進事業」を開始しました。

当事業による「燃え広がりにくいまちづくり」を重点的に進め、安全で安心なまちへの再生を推進していますので、お住まいの新築をお考えのみなさまはぜひご活用ください。

「まちの不燃化促進事業」とは

密集市街地において、まちの不燃化を促進するため、耐火建築物又は準耐火建築物の住宅の新築に対し、費用の一部を補助します。

<対象区域>（※詳しい区域はお問い合わせください）

灘北西部、兵庫北部、長田南部、東垂水地区

<対象建物>

- ・一戸建ての住宅、長屋又は共同住宅の新築
- ・階数2以下、延べ面積40～500㎡以内

※建築基準法等に基づき耐火・準耐火建築物としなければならない場合を除く

<対象者> 対象住宅の建築主

<補助金額> 1件あたり100万円

<窓口・問合せ先> 都市計画総局まち再生推進課（神戸市役所2号館4階）電話番号078-322-6609



火災に強い住宅への建替えにより「燃え広がりにくいまち」へ

旧グラシア二邸が 再建されました！

北野町山本通伝統的建造物群保存地区防災計画



旧グラシア二邸は、明治41年に建築された木造2階建て寄棟造、棧瓦葺、外壁下見板張りの伝統的建造物で、レストランとして活用されていました。しかし、平成24年2月14日の火災により、大きな被害を受け、再利用できる部材を保存した上でいったん解体しましたが、7月末に再建工事が完了し、9月14日より営業を再開します。

再建した建造物は、燃え残った下見板（木製の外装材）や建具を再利用し、下見板の下にはモルタルを塗るなどの防火対策を行っています。

旧グラシア二邸が位置する北野・山本地区は、昭和54年に伝統的建造物群保存地区に指定され、40件の伝統的建造物が存在します。その大半は木造で耐火性能が低いうえ、地区内には狭く・急傾斜の道路が多いため、防災上の課題を抱えています。神戸市は、旧グラシア二邸火災の教訓から、平成25年3月に「神戸市北野町山本通伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定しました。

具体的には、北野・山本地区の歴史的遺産を保存しながら、地区住民の生命、身体及び財産を守るために、①火災を出さない（火災を起さないための取り組みの強化）、②初期段階で消火する（初期段階で消火するための体制と環境の整備）、③避難する（初期消火がかなわない場合に、安全に避難するための体制と環境の整備）を基本方針として、ハードとソフト両面から対策メニューを策定しました。（教育委員会文化財課）

まちなかミニコラム



かつて北野・山本地区にはオリーブ園があったことをご存知でしたか？
8月10日（土）に北野工房のまちで、神戸オリーブ園についての講演会が開催され、165名が参加されました。講師の中西テツ氏は「オリーブの魅力を神戸から発信してほしい！」と「神戸 Olive スタイル」を提案され、「地域の中で応援してほしい」とコメントされました。北野・山本地区での今後のまちづくりの中のテーマの一つとして期待されます！



祝*10年
まちセン研究ネット**神戸らしい建築・空間デザインの研究 (最終回)**

～空間像研究会の最近の活動から(3)～

空間像研究会 栗山 尚子

1. 神戸らしさのある「麓の景」とは？

2013年8月号(第192号)の本紙で報告したように、空間像研究会では、神戸らしさを表す景として、「港の景」「海の景」「街の景」「麓の景」「坂の景」の5つを設定しました。海と山のあるみなとまちという強い都市イメージが神戸にはありますが、山の麓に広がる住宅地(山麓市街地)も神戸の特徴的な場所でありながら、強いイメージがあまり形成されていないと感じます。そこで、「麓の景」のある山麓市街地に着目し、山麓市街地特有の空間像の検討を、2011年度から始めました。

2. 灘・山麓市街地における景観資源調査

2011年～2012年に灘区(山麓市街地)において「麓の景」の景観資源調査を実施しました。調査エリアは、大正期の耕地整理によって、縦横約70～100m四方の整形な街区が形成されましたが、地形の傾斜があるため、街区内を区画整理事業によって整備することは困難であり、田園集落の時期に形成された路地や戦後の無秩序な開発行為の状態が今も残っています。

まちの歴史が読み取れる景観構成要素や、山麓市街地特有の地形の影響が表れている景観構成要素に特に本調査では注目しました。まちの歴史が読み取れる景観構成要素として、住宅があります。大規模な整備事業が入らなかった地区であるため、住宅は明治期以降から現代まで、種々の時代に建てられた戸建て住宅や長屋建て住宅を、1つのまちなかで目にすることができます。また建物が建て替わっている場合でも、石積み擁壁、塀などの外構の要素は変わっていないものがあります。石積み擁壁の現在の位置を、大正時代の地図にプロットしてみると、等高線のラインと擁壁の位置のラインの一致がみられました。このことから、地形の影響を受けて、土地の区画割が決定された経緯を読み取ることができました。また、道路から住宅の玄関にアクセスする階段周りの空間が、山麓市街地の景観の特徴として挙げられます。また、植木鉢を置いて緑を育てる状態から、居住者の緑を維持管理する暮らしの表れを読み取ることができました。

景観資源調査は、約30年前から実施されていま

すが、調査の目的が変化してきたと推測します。約30年前の景観資源調査が、景観資源を地図等にプロットして、調査時点での現象を把握し、まちの景観上の課題を認識するためのものだとすると、今回の景観資源調査は、何気なく地域にあり続ける景観構成要素を、まちの歴史、地形の影響、暮らし、情景を解釈できるような新たな景観資源として位置づけることに重点をおいた調査になっていると考えます。調査中に、居住歴の長い住民の方とお話する機会があり、居住者だからこそ知っている情報を得ることができました。居住者の方と一緒に調査活動に取り組めれば、居住者だからこそ位置づけられる、生活や暮らしに密着した新たな景観資源がさらに出てくると思います。



山麓市街地の道路と住宅敷地との関係の例

3. これからの空間像研究会

2013年度は、神戸市策定の「神戸らしい景観づくりの指針」にもとづく景観ガイドライン策定のための検討のケーススタディとして、引き続き山麓住宅地を対象に検討を進めており、現在までに3地区の山麓市街地の調査を実施しました。これまでの調査結果をふまえ、山麓市街地特有の空間像を表現し、山麓市街地景観ガイドラインにまとめていくための議論や作業を空間像研究会で重ねているところです。

まちの景観資源を発見し、位置づけ、景観をまもりそだてるプロセスに、まちの人々が参画することによって、まちの空間像が形成され、景観のアプローチからまちの課題を解決すると同時に、それぞれのまちがもつ“地域らしさ”を伸ばすことができる。そのような景観まちづくり活動がいろいろなまちに広がっていくことを願いながら、景観まちづくり活動に役立てられるような成果を研究会から出していければと考えています。

まちづくり会館20周年記念事業7・8月レポート

今年の11月に開館20周年を迎えるまちづくり会館では、順次記念イベント等を実施しております。今回は、7月～8月の実施イベント等をご紹介します。11月には、元町周辺のまち歩きや歴史講演会を予定していますので、ぜひご参加ください！詳細は、あーばんとーく10月号やHPなどでお知らせします。

7月23日(火) 元町夜市連携パネル展 ～なつかしの神戸のまちなみ～



元町夜市の開催に合わせて、1階オープンギャラリーで、懐かしの神戸のまちなみ展を実施しました。「懐かしい」と言って、足を止める来館者も多かったです。

8月1日(木)～20日(火) 開館20周年記念企画展 神戸市立博物館所蔵～懐かしき神戸のおもかげ～



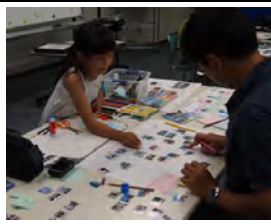
博物館の近代絵画コレクションの中から、懐かしい神戸の面影を残す28点を紹介しました。18日間で3,008人の方に来館いただき、神戸モダニズムの息吹を楽しんでいただきました。

8月3日(土) 20周年企画展記念講演会 「神戸の近代絵画と市立博物館」



市立博物館の廣田氏に講演いただき、約30名の方に参加いただきました。「わかりやすかった」「これまで以上に興味をもてた」などの感想がありました。

8月17日(土)・18日(日) 夏休み親子まち歩き&ペーパークラフト



2日間で合計16組45名の参加がありました。兵庫建築学生団体ひよこ展グループのサポートもあり、子供から大人まで幅広い世代に楽しんでいただきました。

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
8/22(木) ～ 9/10(火)	兵庫運河へでかけよう！！／住み慣れた地域で介護予防	神戸市兵庫区／保健福祉局
9/12(木) ～ 10/1(火)	東南海・南海地震に備えて／防犯啓発パネル展	神戸市危機管理室
10/3(木) ～ 10/22(火)	悪質商法・生活情報センターパネル展／新しい風 生涯学習	神戸市民参画推進局／教育委員会

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
8/29(木) ～ 9/3(火)	第14回 麓和会展 〈油彩・水彩等〉	麓和会
9/6(金) ～ 9/10(火)	劉 素真と神戸墨酔会 水墨画展 〈水墨画〉	神戸墨酔会
9/12(木) ～ 9/17(火)	第49回 兵庫倶楽部 写友会 写真展 〈写真〉	兵庫倶楽部写友会
9/19(木) ～ 9/24(火)	第11回 スケッチクラブ「サンツリー」展 〈水彩〉	スケッチクラブ「サンツリー」
9/26(木) ～ 10/1(火)	第33回 三滴会 書道展 〈書道〉	三滴会
10/4(金) ～ 10/8(火)	神戸婦人大学 絵てがみの会 〈水彩・ハガキ絵〉	神戸婦人大学 絵てがみの会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分(印刷は～5時)

電話・FAX：078-361-4565 (水曜日休館)



まちセンメールマガジン
「せん太ちゃん通信」配信中！

お申込は、mati3@kobe-sumai-machi.or.jp 宛に「メルマガ配信希望」の件名で空メールを送信または右のQRコードをご利用ください。

